

入院診療計画書(胃全摘術)②-1

( )様 主治医( )印 )担当看護師( )

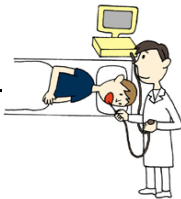
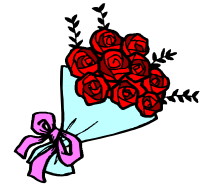


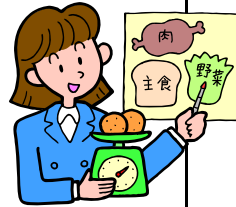
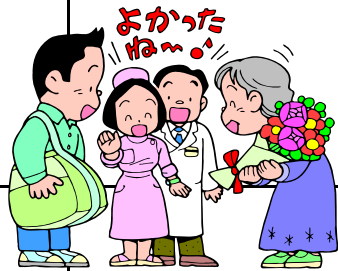
経過	入院～手術前々日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	術後2日目
月・日	/	/	/	/	/	/
治療・検査	回診: 毎日 * 検査がある場合はその都度看護師がお知らせいたします。 			酸素マスク・心電図モニターがついてきます。 胃の中の物を出すために、鼻から管が入ってきます。 ガーゼ交換します。 手術後2～4時間毎に検温します。	採血・レントゲン撮影があります。 酸素・心電図モニターを外します。 医師による、ガーゼ交換があります。 鼻から入っている管を抜きます。	ガーゼをとります。 胃透視の検査があります。
薬	常用薬の確認をします。	眠れないようであれば21時までなら安定剤を飲むことができます。 	食事の代わりに、朝から点滴を始めます。 (手術室入室20分前に注射をします。) 	抗生剤の点滴が(朝・夕)2回あります。 痛みがある時には、痛み止めを使います。 (手術中に背中から、痛み止めのチューブが入ります) 熱がある時には、解熱剤を使います。	 	
食事	制限はありません。	夕食までとっていただきます。 水は21時までです。	食事を取る事は出来ません。 許可があれば、水分を取ることができます。 			検査後許可があれば屋から流動食が出来ます。
日常生活とリハビリ		制限はありません	手術室入室30分前は、ベット上安静です。	ベット上で動くことができます。	制限はありませんが、座る練習から始めます。 調子が良ければ、頑張って歩きます。	
排泄		制限はありません	手術前に排尿を済ませましょう。	尿を出すための管が入ります。(手術室で行います)	尿の管を抜きます。(尿は、トイレに貯めて下さい) 	
清潔		手術する部位の毛を剃り、臍の掃除をします。 その後、入浴して下さい。 爪も切っておきましょう。		体を拭きます。 パジャマに着替えます。	身体を拭くことができます。	
説明・指導	看護師が、手術前の経過について説明します。 自宅より風船を使用し呼吸訓練を始めましょう。 禁煙して下さい 	外科医および麻酔科医が、手術や麻酔について説明します。 術の承諾書をとらせていただきます。 印鑑をお持ちください。		家族の方も、待合室でお待ちください。	許可が出たら、どんどん動きましょう。 	* 胃透視の影響で下痢をします。
その他	必要物品準備 承諾書の確認	必要物品確認				

\* この計画書はおおよその経過をお知らせするもので、場合によっては変更になることもあります。

健康保険人吉総合病院 2008年8月改訂

( 患者・家族 )サイン:

入院診療計画書(胃全摘術)②-2

経過	術後3日目	術後4~5日目	術後6~7日目	術後8~9日目	術後10~11日目	術後12~13日目	術後14~15日目	術後15日目以降
月・日	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	予定日 /
治療・検査	採血(3日目)	背中に入っている痛み止めのチューブを抜きます。	採血(7日目) 7日目より、お腹の糸(鉤)を半分ずつ取ります。		退院前の胃カメラがあります。(12日目) 			発熱が無く、創の状態が良好更に、食事が半分以上摂取できれば退院です。
薬	食事のかわりに点滴があります。 4日目以降食事が入れれば点滴を抜きます。							必要な薬を確認しましょう
日常生活とリハビリ	食事	流動食(分割) → 4日目昼から3分粥(術後分割)	6日目昼から5分粥(術後分割)	8日目昼から全粥食(術後分割)	10日目昼から米飯食(術後分割)	→		退院後も規則正しい生活を心がけて下さい。 
	活動	制限はありません。散歩などをして、どんどん体を動かしましょう。						<b>退院おめでとうございます</b>
	排泄	3日目より排尿は貯めなくてよいです。						
	清潔	シャワー浴できます。		入浴できます				
説明・指導	看護師/栄養士より食事についての話があります。			栄養指導を計画します。家族の方と一緒に受けましょう	退院指導を行います。不安なことはご相談ください			
その他	診断書・証明書の必要な方は、早めに提出してください。 入院費用、介護保険のご相談はソーシャルワーカーが承りますので看護師におたずねください。							